

密命12・傀儡剣合わせ鏡

乱雲

佐伯泰英



かなすぎそうごぶろう
金杉惣三郎（浪人 元相良藩江戸留守居役） — しの（妻）、結衣（娘）

あやめ（亡き妻）、清之助（息子）、みわ（娘）

せいぞう うおつね
長屋：勢三（豆腐屋）、魚常（魚屋） — おつぎ（女房）、八百久（八百屋）

こうじんやきはち
荒神屋喜八（火事始末御用）

まつぞう
松造（小頭） — お由（元ととやの女中）

とめ（人足） — 権六（亡き亭主）、芳三郎（三男）

かんあみぜんべえ じいちろう ちゅうぞう
冠阿弥膳兵衛（芝神明の札差） — さき（女房）、治一郎（息子）、忠蔵（番頭）

とうごろう きょう
め組 登五郎（芝蔭若頭） — お杏（女房 冠阿弥の娘）、半次郎（息子）

たつきち とび
辰吉（源助町蔭の総頭取） — つや（女房）

さんじ しょうへい まとい
三次（蔭）、昇平（蔭）、新太郎（纏持ち）、弘吉

まんさく
万作（昇平の友 芝浦の漁師）

いわみてつたろうなりむね
石見鍬太郎成宗（一刀流道場主） — お麻（内儀）

いたみ むなかた ぼくでん
伊丹五郎兵衛（師範格）、棟方新左衛門（流浪の剣士 津軽ト伝流）

よねつかんべえ ひたち こうきち あまぞう
米津寛兵衛（常陸鹿島 石見の師）、甲吉（下男）、雨蔵（老爺）

ひさむら しもつけのこく
久村定次郎（下野国茂木藩江戸勤番）

ごいちろう
久村護一郎（茂木藩元締格） — お栄、おりく（娘）

けいあん
溪晏（八丁堀の医者）

げんしち
源七（ととや）、つね（少女）

かねしち
伊吹屋金七（京橋の薬種問屋） — お玉（内儀）

はづき
葉月（娘）、佐一郎（息子）

むつのくにひろさきはん そめじよ
南部清太夫（陸奥国弘前藩津軽家御納戸方）、染女（娘）

きじや
大和屋吉兵衛（木地屋）

徳川吉宗（八代将軍 紀州藩主光貞の四男 生母は由利・浄円院）

水野和泉守忠之（老中）

佐古神次郎右衛門（家老職）

杉村久右衛門（用人）

佐々木治一郎（御側衆 長男）、次郎丸（次男）、三郎助（三男）

大岡越前守忠助（南町奉行）、織田朝七（内与力）

西村桐十郎（北町同心→南町同心）— 野衣（妻）、晃太郎（息子）

花火の房之助（岡っ引）— 静香（女房 踊り手習い師匠）

信太郎（手先）、三児（手先）、猪之吉（手先）、海蔵（手先）

熊吉（手先）—うめ（孫娘→女中）

徳川継友（尾張藩主）、宗春（弟）

石河丹後守恒高（年寄）

峠兎奪（高野聖頭）、左驗坊真龍、右驗坊吾達、躰百錢、龍巻白兵衛

解々一膳坊（傀儡子）かつらぎ（女房 瞽女）

徳川大納言宗直（紀伊藩主）

笹村主水（大目付）、高槻銀次郎（探索方）

平手藤内（町奉行）

田宮千衛門（抜刀田宮流道場主）

園部治平次（丹波福知山の神流剣術）

紀伊國屋数左衛門（料理屋）— おさん（内儀）、お登季（娘）

水野忠昭（新宮藩主）

水野重期（前藩主）、水野京之助（妾腹の子）、幕屋綜五郎信辰（新陰流）

高泉師（粉河寺住職）、瑞覚坊（修行僧）